

衆議院外務委員会ニュース

平成 21.11.18 第 173 回国会第 2 号

11月18日(水) 第2回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・岡田外務大臣、武正外務副大臣、辻元国土交通副大臣、榛葉防衛副大臣、階総務大臣政務官、吉良外務大臣政務官、長島防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

中津川 博 郷君(民主)

- ・普天間飛行場移設問題に関し、岡田外務大臣が沖縄を訪問した際(2009.11.15~16) 普天間飛行場と嘉手納飛行場の視察を行ったとのことであるが、どのような成果を得たのか。また、仲井眞沖縄県知事らとの会談で、岡田外務大臣はどのような所感を抱いたのか。
- ・各国の民族、宗教、経済の発展段階などが大きく異なる東アジアにおいて共同体を構築するに当たり、何を基軸とするのか。
- ・東アジア共同体構想の枠組みにおいて、人権や民主主義などを尊重する台湾の存在をどのように考えるのか。

服部 良一君(社民)

- ・普天間飛行場移設問題についての日米間の外務・防衛閣僚級作業部会の第1回会合(2009.11.17)において、県外・国外移設の候補地は具体的に挙げられたのか。
- ・日米密約に関して、歴代政権の責任をただす必要があると思われるが、現在行なわれている外務省の内部調査の進捗状況はどうなっているのか。
- ・外務省の平成 22 年度概算要求にある国連広報センター(UNIC) 拠出金(3,140 万円)には今年までに計上された施設費(約 2,000 万円)が含まれているのか。

平沢 勝栄君(自民)

- ・外国人に参政権を付与することは、たとえ地方選挙であっても、国の外交・安全保障と無関係ではなく問題があると考え、岡田外務大臣はどのように考えるか。
- ・岡田外務大臣が「天皇陛下のお言葉」の見直しについて言及した真意は何か。
- ・日米間の外務・防衛閣僚級作業部会の第1回会合(2009.11.17)において、日本側は外務・防衛両大臣が出席したのに対し、米側出席者は駐日大使及び国防次官補であり、釣り合っていないのではないかと。

岩屋 毅君(自民)

- ・岡田外務大臣が普天間移設問題とアフガニスタン支援はパッケージである旨述べた真意は何か。
- ・鳩山内閣総理大臣が来日中のオバマ米大統領を残したまま、アジア太平洋経済協力(APEC)首脳会議に出席するためシンガポールへ向け出発したのはなぜか。
- ・インド洋における補給支援活動を違憲とする民主党の小沢幹事長の考えを、連立政権においても踏襲しているのか。

小野寺 五典君(自民)

- ・普天間飛行場移設問題については、有効な代替策を見出せない限り、最終的には辺野古沖合への移設という現行案で決着されると考えてよいのか。
- ・我が国が表明したアフガニスタン支援の50億米ドルは、どのような積算根拠によって設定されたのか。
- ・本年11月15日に閉幕した大西洋まぐる類保存国際委員会で、2010年の漁獲枠割当の削減が決定されたが、これに対して国内の漁業関係者を支援する措置が必要ではないか。

赤松 正雄君(公明)

- ・政治主導の外交を行う上で、日米同盟のように現在直面する課題と、長期理想としての東アジア共同体を同時に語る事が国民に懸念を与えていると考えるが、岡田外務大臣はどう認識しているか。
- ・岡田外務大臣は、政治主導の外交を行う上で、外務省改革にどのような姿勢で取り組んでいくのか。
- ・外務省では、米国のイラク攻撃への対応に見られるように、政策決定が情報収集に優先する傾向があるとの指摘があるが、岡田外務大臣はどう認識しているか。

笠井 亮君（共産）

- ・外務省による密約調査については、本年 11 月末を目途に岡田外務大臣に報告が上がることになっているが、調査の進行状況はどうなっているか。
- ・マレーシア政府が国連総会に提出した「核兵器の威嚇と使用の適法性に関する国際司法裁判所の勧告的意見の追求」決議に我が国が棄権したのはなぜか。
- ・岡田外務大臣は、衆議院外務委員会での就任挨拶（2009.11.13）で、日米同盟を 50 年先も持続可能なより強固なものにすると表明しているが、50 年後も日本に米軍の基地を置き続ける考えか。

- 2 万国郵便連合憲章の第八追加議定書、万国郵便連合一般規則の第一追加議定書及び万国郵便条約の締結について承認を求めるの件（条約第 1 号）
郵便送金業務に関する約定の締結について承認を求めるの件（条約第 2 号）
南東大西洋における漁業資源の保存及び管理に関する条約の締結について承認を求めるの件（条約第 3 号）
- ・岡田外務大臣からそれぞれ提案理由の説明を聴取しました。